

市展

第16 回亀山市美術展目録

会 期 令和 3 年 3 月 8 日(月)～3 月 14 日(日)
午前 10 時～午後 5 時（最終日は正午まで）

会 場 亀山市文化会館大ホールロビー
亀山市中央コミュニティセンター

主 催 亀山市
後 援 亀山市芸術文化協会、公益財団法人 岡田文化財団
協 力 公益財団法人 亀山市地域社会振興会

目 次

○入賞作品紹介・審査評

日 本 画..... 1

洋 画..... 3

写 真..... 5

書 7

彫刻・工芸..... 9

○特別出展.....11

○出展作品一覧.....12

○第 16 回亀山市美術展について17

○入賞作品紹介・審査評

日本画



市長賞

「東野公園にて」 日當 優子



議長賞

「木立ベゴニア」 松田 純一



教育長賞

「秋桜無常の移ろい」 中森 新次



芸術文化協会会長賞
「古神木」 谷川 理子



岡田文化財団賞
「晩夏」 原 さだ代

審査評

個人の持っている想いや強さが感じられる作品が賞に入ったと思います。また、今年の作品は、賞に入らなかった作品も含めて、全体的に丁寧な仕事の作品が多くみられるとともに、ジャンルが豊かで作品の対象をしっかりと見つめて描いているものが多かったです。一方で、画面に強弱をつけることや省略するところなどを工夫するとさらに良い作品になると思います。

市長賞の「東野公園にて」は、背景と幹のコントラストがよいので、切り株の存在感と重厚感が際立ち、生命のほとばしりを感じます。きのこや周囲の雑草のバランスもよく、公園の一角に歴史を感じる情景として表現されている素晴らしい作品です。

議長賞の「木立ベゴニア」は、穏やかな空気感の中に白い花が際立っている美しい作品です。

教育長賞の「秋桜無常の移ろい」は、無彩色のバックに淡いピンクが映え、移ろいゆく情緒を感じさせる作品です。

芸術文化協会会長賞の「古神木」は、墨の濃淡がうまく表現され、画面に奥行きを感じる作品です。

岡田文化財団賞の「晩夏」は、朽ちてゆく向日葵をあえてダイナミックに扱った視点が興味深い作品です。

日本画部門審査員 岩田 隆 川口 茜漣

※永都審査員は、県外在住のため運営委員会の判断により今年度は審査をお断りしています。

洋画



市長賞

「私」北嶋 文佳



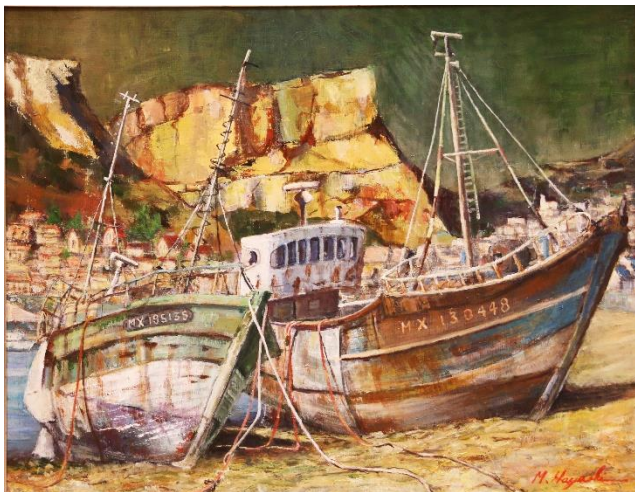
議長賞

「いのち」藤縄 正博



教育長賞

「きざし」近澤 さとみ



芸術文化協会会長賞
「廃船」林 正夫



岡田文化財団賞
「ブルーに揺らめく」西川 真紀

審査評

コロナ禍において、市展が開催されるとともに多くの作品が出品されたことは大変良かったと思います。作品のオリジナリティーが強く、作者独自の世界観がしっかりとしたものを受賞作品として選定しました。また、どの作品も日頃からまっすぐに自分の作品に向き合って創作活動に励んでいる姿が伝わり、作者の力量の高さが感じられました。また、素描的なものからマットで大胆なマチエールのものなど、幅広い表現の作品が集まっていた点も良かったです。

市長賞の「私」は、繊細な線で描かれたペン描の作品であり、作者の世界観がよく表れています。モノクロの世界で「マンダラ」を思わせる「くり返し」の描写が一枚の作品を一つの宇宙の域まで高めています。また、驚くほどの時間を費やしながらかかれたことが感じられる作品でもあります。

議長賞の「いのち」は、描写力に優れ生命力の強さが画面から伝わってくる素晴らしい作品です。

教育長賞の「きざし」は、鉛筆によつて的確にデッサンされており、優れた技量が感じられる作品です。

芸術文化協会会長賞の「廃船」は、質の高い表現力をもっており、廃船が朽ちていくのを通して人生とは何かを語りかけてくる作品です。

岡田文化財団賞の「ブルーに揺らめく」は、独創的なフォルムにしっかりとした絵具の展開が印象的な作品です。

洋画部門審査員 田村 公男 伊藤 龍彦 川村 隆夫

写真



市長賞

「楽しい一時」 井上 アヤ子



議長賞

「黄昏－2020年秋－」 藤村 和昌



教育長賞

「楽しい水撒き」 織部 好博



芸術文化協会会長賞
「やわらぎ」 宮崎 理徳



岡田文化財団賞
「日常」 佐野 昌之

審査評

コロナ禍で行事が少なく撮影の機会が少なかったなどの影響で、昨年は31点の応募でしたが、今年は21点の応募ということで少なくなりました。少ない応募作品でしたが、各作品の完成度は高かったです。

直接的にコロナ禍を感じる写真がなかったことが残念でした。単写真だけでなく、組写真や日々暮らしている生活、イベント、祭りなどで今を感じさせてくれる写真、チャレンジ精神のある写真も見たかったです。

市長賞の「楽しい一時」は、三人の自然な表情が目に飛び込み、作者のやわらかな視線も感じることができました。また、構図の面白さ、背景の単純化、手や表情の動きの面白さもこの写真を魅力的にしていると思います。写真から楽しさが伝わってくる良い作品です。

議長賞の「黄昏ー2020 年秋ー」は、夕焼けのグラデーションとスケール感を美しく表現した作品です。

教育長賞の「楽しい水撒き」は、表情とシャッターのタイミングが良く、良い瞬間を撮影している作品です。

芸術文化協会会長賞の「やわらぎ」は、身近な世界をやわらかい眼差しで組み写真としてまとめた作品です。

岡田文化財団賞の「日常」は、日常的なシーンをモノクロ写真で素晴らしく捉えた作品です。

写真部門審査員 松原 豊 山口 政宣 石井 清

教育長賞 「与謝野晶子の歌」 安藤 佑珠

春がせに桜花も層塔のゆきを鳩の羽に
歌ふれど誰か筆に染めて扇を去年
までけ白きをぬぐい君にやあらわ
与謝野晶子歌 安藤佑珠書

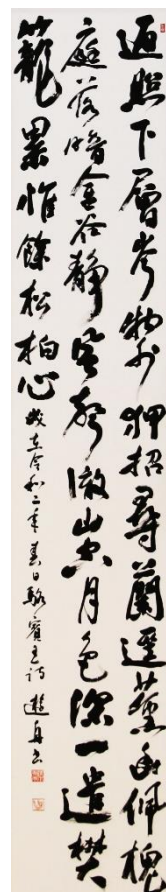
議長賞 「常建詩」 畑中 花影

清晨乃古寺初日照高林曲径通幽處
禪房花木深山光悅鳥性潭影空人心
萬籟此俱寂惟聞鐘磬音
常建詩 花影書

市長賞 「劉禹錫詩」 烏衣巷 松田 香華

朱雀橋邊野草花烏衣巷口夕陽斜
舊時王謝堂前燕飛入尋常百姓家
劉禹錫詩 烏衣巷 香華書

岡田文化財団賞 「駱賓王詩」 清水 遊舟



芸術文化協会会長賞 「春夏秋冬」 平田 英也



審査評

昨年より作品数は増加しましたが、書のジャンルによっては少し寂しさを感じるところがありました。しかしながら、この地域の書の文化の豊かさを感じました。中でも、漢字、調和体部門の力作が目立ち今後が期待されます。次回は、仮名作品の出品も期待しています。

市長賞の「劉禹錫詩 烏衣巷」は、墨量豊かで筆力があり、空白を活かした力作です。落款により、本文を活かし全体が調和した素晴らしい作品に仕上げられています。

議長賞の「常建詩」は、躍動感があり繊細な構成で仕上げられている作品です。

教育長賞の「与謝野晶子の歌」は、練度の高い線質で古典のにおいのする作品です。

芸術文化協会会長賞の「春夏秋冬」は、強弱のある線質に刻字の技法が活かされた作品です。

岡田文化財団賞の「駱賓王詩」は、運筆自在で迫力があり、余白を活かした作品構成に仕上がっています。

書部門審査員 小川 匪石 服部 青洞 水谷 紅楓

彫刻・工芸



市長賞
「温厚」松本 百恵



議長賞
「メリーゴーランド追憶」
廣森 勲



教育長賞
「火炎壺」竹森 實紀雄



芸術文化協会会長賞
「幸せを運ぶ十二のキャスト」
西川 るみ子



岡田文化財団賞
「やさしさ」徳永 嵐

審査評

コロナ禍の中、作り手の製作活動が思い通りに進まない状況にも関わらず、昨年を上回る数の出品と幾種類もの素材を使って完成された数々の作品を見ることができ、作品の持つパワーを感じ取ることができました。また、全体的に新しいことにチャレンジする意気込みが感じとれる素晴らしい作品が多かったです。今後は、見えるところを美しく仕上げることで、さらに完成度が上がると思います。

市長賞の「温厚」は、真正面を見据える若々しい少女の女性像で、見る側に作者の強い意志と想いを伝えてくる清々しい秀作でした。今後とも真摯に作品と向き合い良い作品の制作を期待しています。

議長賞の「メリーゴーランド追憶」は、1枚の板にたくさんの動物を彫り込まれた秀作でした。

教育長賞の「火炎壺」は、緊張感のあるフォルムと古色させた表現処理が魅力的です。古代土器を彷彿させる秀作です。

芸術文化協会会長賞の「幸せを運ぶ十二のキャスト」は、穏やかに作陶されている姿が想像できる楽しい作品です。

岡田文化財団賞の「やさしさ」は、シンプルな形の中にも、のどかな生命の存在を感じさせる作品です。

彫刻・工芸部門審査員 清水 潤 高山 大 三村 力

○特別出展



マザー・テレサ（ミゼレーレⅩⅡ）

中村 晋也（亀山市名誉市民）

制作 平成 10（1998）年

協力 公益財団法人中村晋也美術館

阪神・淡路大震災が起きた 1995 年、その被災された人々を悼む気持ちを込めて始まったのが、中村晋也の「ミゼレーレシリーズ」です。制作順に番号をタイトルとするシリーズ全 18 作中、12 番目とされるこの作品は、死にゆく病人や貧者のために生涯を尽くして奉仕したマザー・テレサをたたえて制作した作品です。今、世界中に蔓延した新型コロナ禍中、命懸けで戦ってくださっている医療現場の方々への感謝と、さまざまな自粛に日々耐えて暮らしている市井の人々へのエールを込めてご紹介します。

（参考 広報亀山 令和 3 年 3 月 1 日号）

○出展作品一覧

【日本画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	日當 優子	東野公園にて	みずほ台
議長賞	松田 純一	木立ベゴニア	野村三丁目
教育長賞	中森 新次	秋桜無常の移ろい	関町木崎
芸術文化協会会長賞	谷川 理子	古神木	鈴鹿市
岡田文化財団賞	原 さだ代	晩夏	田村町
奨励賞	生駒 清子	サンセットの余韻	羽若町
入選	小坂 誠二	地吹雪	布気町
入選	東川 廣子	旅路	みずほ台
入選	仲村 春水	新深雪	鈴鹿市
入選	原 征子	福縁鳥	田村町
入選	今田 雪峰	派手でしょ	鈴鹿市
入選	上原 史行	一色能(伊勢)	川合町
入選	太田 幸子	反りこれでどを！	和田町
入選	栗本 薫	へエ！8歳舞い！	川合町
無鑑査	古旗 敬廣	「あずみ野と常念岳」	川崎町
審査員	岩田 隆	清明(安楽川)	鈴鹿市
審査員	川口 茜漣	刻の雫	津市

【洋画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	北嶋 文佳	私	加太市場
議長賞	藤縄 正博	いのち	野村一丁目
教育長賞	近澤 さとみ	きざし	関町萩原
芸術文化協会会長賞	林 正夫	廃船	アイリス町
岡田文化財団賞	西川 真紀	ブルーに揺らめく	亀田町
奨励賞	原 君子	故里へ	田村町
入選	澤田 清隆	啓蟄Ⅲ	加太神武
入選	原 静雄	声	田村町
入選	常恒 正勝	ラグドール	天神三丁目
入選	水野 真住	椅子	北町
入選	長廻 武志	南島大橋	伊勢市
入選	中西 勝	心の風景 三段壁	野村一丁目
入選	所 啓子	庭のカサブランカ	上野町
入選	倉田 晴華	富士の思い出	和田町
入選	服部 裕	飼育員と動物たち	羽若町
入選	石谷 長生	稲刈り体験学習	東御幸町
入選	水谷 和則	錦秋・正法寺山荘跡	関町小野
入選	田中 香	私の食卓	辺法寺町
入選	田口 眞佐子	暁光	上野町
入選	坂 裕文	光彩	東台町
入選	小池 勇	ありし日の	本町三丁目
入選	村田 円莉子	フジの山	両尾町
入選	小倉 咲穂	ループ	椿世町
入選	名越 悦子	石水溪	栄町
入選	長谷川 千香子	初秋の眺め(関の家並み)	関町富士ハイツ
入選	斎藤 政子	ヨコスカショップ	鈴鹿市
入選	橘 喜代美	水遊び	鈴鹿市
入選	松村 弘志	ため池	栄町
審査員	田村 公男	Tのヌード	津市
審査員	伊藤 龍彦	森の夜、夜の森	三重郡菰野町
審査員	川村 隆夫	サンポール丘の丘	四日市市

【写真部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	井上 アヤ子	楽しい一時	みどり町
議長賞	藤村 和昌	黄昏 ―2020 年秋―	みずほ台
教育長賞	織部 好博	楽しい水撒き	関町富士ハイツ
芸術文化協会会長賞	宮崎 理徳	やわらぎ	津市
岡田文化財団賞	佐野 昌之	日常	小川町
奨励賞	伊藤 隆	ひよんな出会い	菅内町
入選	森崎 進	雨の街角	加太向井
入選	豊田 康文	我家の魔女	菅内町
入選	馬路 光一	現代を撮る	安坂山町
入選	櫻井 信也	高原の秋	天神一丁目
入選	村田 芳男	沈黙社会	関町新所
入選	谷口 初太郎	希望を、背負う親子	住山町
入選	西村 幸子	新春ご挨拶	井田川町
入選	笠井 俊夫	早春	関町坂下
入選	滝本 洋一	ある日の光景	関町坂下
入選	滝本 麻須美	宇宙とコンタクト	関町坂下
入選	岡田 昭重	探梅の道	関町会下
入選	井上 英勝	ふざけあい	太岡寺町
入選	米村 善廣	モテる男	津市
入選	山崎 一博	ドデー！	加太神武
入選	服部 清和	楽しいしゃぼん玉	能褒野町
審査員	松原 豊	赤いオカマのある脱衣場	津市
審査員	山口 政宣	朝陽	桑名市
審査員	石井 清	港の集積	伊勢市

【書部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	松田 香華	劉禹錫詩 烏衣巷	西丸町
議長賞	畑中 花影	常建詩	鈴鹿市
教育長賞	安藤 佑珠	与謝野晶子の歌	椿世町
芸術文化協会会長賞	平田 英也	春夏秋冬	野村一丁目
岡田文化財団賞	清水 遊舟	駱賓王詩	東町
奨励賞	北川 美絵	坂村 真民の詩	鈴鹿市
入選	加藤 紅華	邵康節詩	住山町
入選	川上 春琴	李昌符詩	菅内町
入選	好田 小沙	王建詩	津市
入選	岡田 静嶺	題松汀駅	津市
入選	菅生 洋子	宋无の詩	アイリス町
入選	山本 青蘭	三好達治の詩	みどり町
入選	安国 比沙子	三好達治の詩	みどり町
入選	高橋 慶水	韓愈詩	みどり町
入選	打田 亮子	臨王鐸	鈴鹿市
入選	櫻井 花筵	于良史詩	井尻町
入選	篠原 蕙風	李白詩	下庄町
入選	藤田 大翔	臨 金文	本町一丁目
入選	宮崎 晴陽	臨 松風閣詩卷	本町一丁目
入選	戸板 亮介	臨 玄妙観重修三門記	本町一丁目
入選	梅林 香堂	李白詩	西町
無鑑査	竹田 清章	邵康節詩	栄町
無鑑査	豊田 真苑	瑞色含春	菅内町
無鑑査	菅生 游里	北原白秋詩	みどり町
無鑑査	堀田 花	漱石の句	東丸町
審査員	小川 匪石	筆墨生涯獨善身	津市
審査員	服部 青洞	愛華	津市
審査員	水谷 紅楓	放情丘壑	桑名市

【彫刻・工芸部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	松本 百恵	温厚	関町新所
議長賞	廣森 勲	メリーゴーランド追憶	西町
教育長賞	竹森 實紀雄	火炎壺	名張市
芸術文化協会会長賞	西川 るみ子	幸せを運ぶ十二のキャスト	川合町
岡田文化財団賞	徳永 嵐	やさしさ	能褒野町
奨励賞	坂本 祥子	黙	みずほ台
入選	豊田 久	藁ぞうり	関町久我
入選	田所 正敏	抹茶碗(緋色焼締)と板皿(緋色水玉焼締)	関ヶ丘
入選	川嶋 浩一	愛猫ケンちゃん	関町小野
入選	谷口 秀文	埴輪	鈴鹿市
入選	井上 一男	皮袋形水筒花器	阿野田町
入選	堀川 峰男	花入	鈴鹿市
入選	岡本 利見	銅板タンキン手作り	和田町
入選	古川 宏	縄文勾玉壺	名古屋市
審査員	清水 潤	萬古黒角文鉢	四日市市
審査員	高山 大	黒陶拭漆飾函	津市
審査員	三村 カ	水の記憶	鈴鹿市

○第 16 回亀山市美術展について

《第 16 回亀山市美術展出展状況》

部 門	出品数	入選	無鑑査	審査員	特別出展	展示作品
日本画	14	14	1	2	0	17
洋 画	28	28	0	3	0	31
写 真	21	21	0	3	0	24
書	21	21	4	3	0	28
彫刻・工芸	14	14	0	3	1	18
合 計	98	98	5	14	1	118

※ 平成 18 年度亀山市美術展以降、同部門で市長賞を 2 回受賞された方は 5 年間無鑑査となります。

※ 彫刻・工芸部門には、第 9 回亀山市美術展より陶芸を含みます。

※ 入選者数に、入賞者数（奨励賞を含む 6 賞）を含みます。

《審査員及び運営委員》

審 査 員

【日本画部門】 岩田 隆・川口茜漣
 【洋画部門】 田村公男・伊藤龍彦・川村隆夫
 【写真部門】 松原 豊・山口政宣・石井 清
 【書部門】 小川匪石・服部青洞・水谷紅楓
 【彫刻・工芸部門】 清水 潤・高山 大・三村 力

運 営 委 員

【日本画部門】 宮崎観峰
 【洋画部門】 中田勝彦
 【写真部門】 平野 武
 【書部門】 安藤清舟
 【彫刻・工芸部門】 後藤正博

※目録氏名は敬称を略しました。

